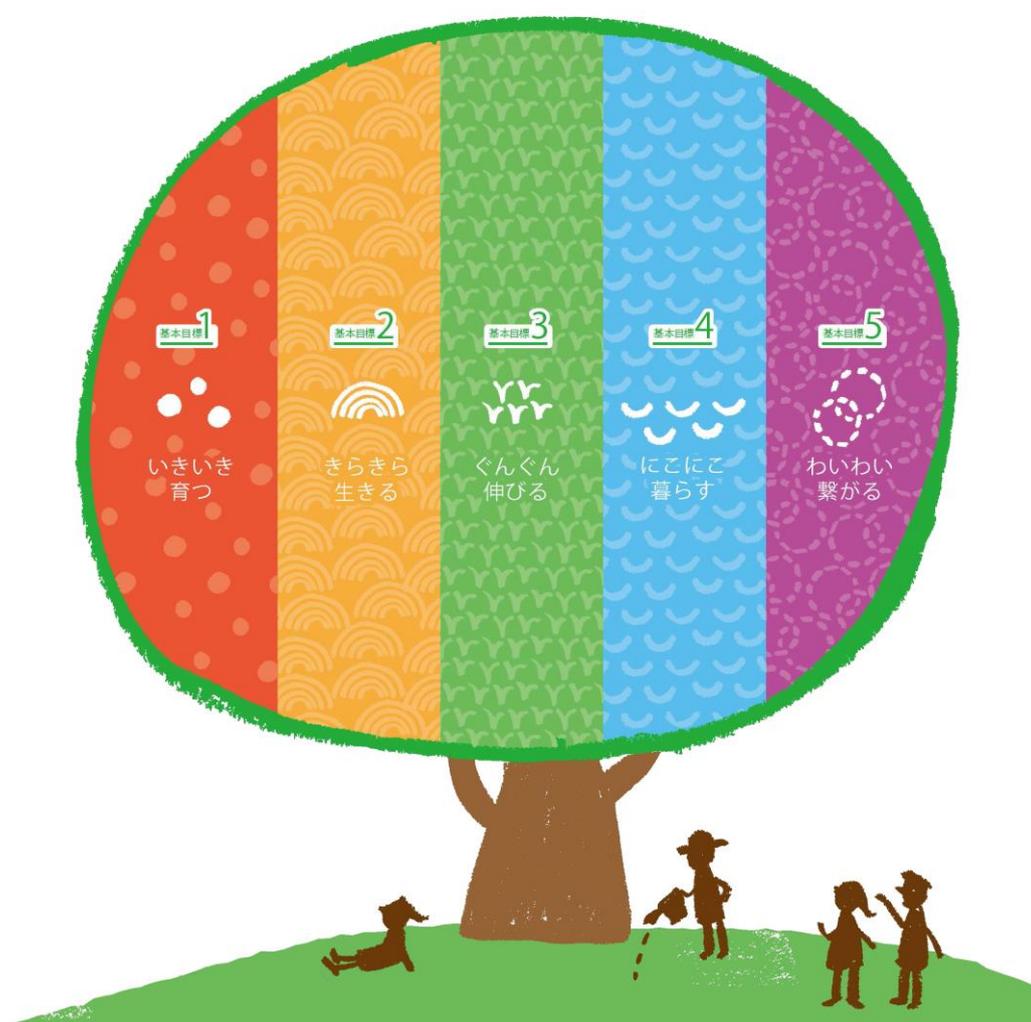


令和2年度

施政方針における主要な取り組み



菊川市

『明日に向かって変わるまち“きくがわ”』をテーマに、将来に向けた魅力あるまちづくりに職員が一丸となって取り組みます。

総合計画 5つの基本目標

- 1 子どもがいきいき育つまち (P1 ~ 2)
- 2 健康で元気に暮らせるまち (P3 ~ 5)
- 3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち (P6 ~ 9)
- 4 快適な環境で安心して暮らせるまち (P10 ~ 14)
- 5 まちづくりに市民と行政が共に取り組むまち (P15 ~ 16)

1 子どもがいきいき育つまち

待機児童の解消に向けた対策

★◆認定こども園施設整備補助事業 **新規** 《 56,087 千円》

◇認定こども園西方保育園の園舎整備に対し支援をします。

保育士の確保のためのPR

◆保育士確保事業 **継続** 《 32 千円》

◇市内園の保育士等の確保に向け、大学訪問やイベントでのPRに取り組みます。

第3子以降の保育料無償化

◆副食費無償化事業 **継続** 《 7,560 千円》

◇国基準から外れた第3子以降の子どもの副食費を無償化します。

市の小中一貫教育を検討

◆小中一貫・連携教育推進事業 **拡充** 《 6,054 千円》

◇「小・中学校間のたての接続」と「学校と地域社会のよこの連携」を基盤とした小中一貫教育「学びの庭」構想を推進し、今年度は、協働の統括や学校と地域間の連絡調整等を担う地域学校協働活動推進員を配置します。また、モデル地区の岳洋中学校区が地域の特色として伸ばそうとしている英語力向上のための取り組みを業務委託します。

ICT教育への取り組み

★◆ ICT教育推進事業 **新規** 《 2,801 千円》

◇プログラミングを体験しながら論理的思考力を身に付けさせるため、コンピューターに意図した処理を行わせる教材とタブレット用キーボードを導入します。

学校施設の整備

★◆ 加茂小学校校舎耐震補強・大規模改造事業 **継続** 《 438,164 千円》

◇耐震力がやや劣る加茂小学校において、耐震補強・大規模改造工事を行います。

★◆ 小笠南小学校校舎耐震補強・大規模改造事業 **新規** 《 21,020 千円》

◇小笠南小学校において、耐震補強・大規模改造の設計業務委託を行います。

★◆ 校務支援システム導入事業 **新規** 《 69,535 千円》

◇校務の迅速化と教職員の負担軽減化による子どもと向き合う時間の確保、教育に係る様々な情報のセキュリティ強化や次期学習指導要領への対応を実現するため、校務支援システムを導入します。

キャリア教育の推進

◆ 中学生ふるさと未来塾事業 **継続** 《 278 千円》

◇中学生を対象に、菊川市で働くことの良さについて学び、将来について考えてもらうことを目的に、市内に事業所を有する企業等を講師とする講演会（プレゼンテーション）を開催します。

◆ 高校生ふるさとセミナー事業 **継続** 《 60 千円》

◇市内2校の高校生を対象に、地域について学び、考え、見つけた課題を主体的に捉えて解決策を創り上げる事業を連携して実施します。

◆ キャリア・パスポート事業 **新規** 《 1,276 千円》

◇小学校から高校までの間に、児童、生徒が年度ごとに目標や振り返りを記入し、保護者及び教員が言葉を付すといた、キャリア・パスポートが導入されるため、その保管用ファイルを購入します。



2 健康で元気に暮らせるまち

健康寿命の延伸と健康格差の縮小

- ◆「第2次菊川すこやかプラン」推進事業 **継続** 《各課連携予算》
◇生活習慣病の発症・重症化予防と介護予防に努めるため、市民一人ひとりが健康についての正しい知識を持ち、ライフステージに応じた健康づくりに取り組みます。
- ◆検診事業 **継続** 《 38,055 千円》
◇がんや疾病の早期発見、早期治療のための検診を実施します。また、多くの人に受診してもらおうよう、併せて受診勧奨を実施します。
- ◆健康増進事業 **継続** 《 1,468 千円》
◇主に40歳からの健康づくりや生活習慣の改善に向けた正しい知識の普及・啓発を行い、高齢期になっても元気で生活することができる市民を増やします。
- ◆健康マイレージ事業費 **継続** 《 475 千円》
◇多くの世代に健康づくりの取り組みを広げることを目的に、健康づくりのきっかけとなるよう、ポイントを貯めて特典が受けられる楽しさを感じる健康マイレージ事業を実施します。
- ◆予防接種事業 **継続** 《 46,524 千円》
◇伝染のおそれがある疾病の発生及び蔓延を予防するため予防接種等を実施します。
- ◆食育推進事業 **拡充** 《 435 千円》
◇農作物を育成から収穫まで行い、販売することで食育の学習効果を高めるための委託業務を行います。

協働による地域福祉の推進

- ★◆次期地域福祉計画策定事業 **新規** 《 2,597 千円》
◇第4次地域福祉計画を策定します。

地域包括ケアシステムの充実

- ◆在宅医療・介護連携推進事業 ※介護保険特別会計 **継続** 《 3,769 千円》
◇医療と介護の両方を必要とする高齢者が、自分らしい人生を住み慣れた地域で最後まで続けることができるよう、関係機関が連携し多職種協働する体制を実施します。
- ★◆包括的支援事業 ※介護保険特別会計 **拡充** 《 28,137 千円》
◇社会福祉法人に委託しているランチを地域包括支援センターへ移行する準備を行います。

急性期から在宅まで切れ目のない医療の提供

★◆菊川病院運営事業（一般会計繰出金） **継続** 《 1,092,377 千円》

◇菊川市立総合病院と菊川市家庭医療センターでは急性期から在宅まで切れ目のない医療を提供しています。医療提供体制の確保のため、一般会計から繰出金を支出します。

体育協会やスポーツ推進委員との連携

◆スポーツ推進委員活動事業 **継続** 《 3,391 千円》

◇スポーツ推進委員と連携し、事業実施に係る連絡調整及び各種スポーツイベント等の企画・運営について協議し、スポーツ事業の推進を図ります。

生涯スポーツの普及

◆生涯スポーツ推進事業 **継続** 《 2,549 千円》

◇市民の健康、体力づくりや生きがいづくりにつながる一人1スポーツを推奨することにより、誰もがいつでも気軽に取り組むことのできるスポーツ教室を開催します。

◆スポーツ大会推進事業 **継続** 《 3,879 千円》

◇子どもから高齢者まで幅広い年齢層を対象に、気軽に参加できる軽スポーツを中心に大会を開催し、多世代間の交流を促進するとともに、健康で心豊かな人づくりに寄与します。

体育施設照明灯のLED化

★◆グラウンド・体育館整備事業 **新規** 《 18,518 千円》

◇菊川市民総合体育館室内照明灯をLEDに取り換えます。

東京オリンピック・パラリンピック

◆パラリンピック聖火事業 **新規** 《 55 千円》

◇パラリンピック聖火事業として市で採火式を開催し、「きくがわの火」を集火式が行われる静岡市まで運搬します。

関口隆吉顕彰事業

★◆関口隆吉顕彰事業 **新規** 《 93 千円》

◇関口隆吉氏の銅像が建立されている菊川駅前広場から月岡の関口氏の顕彰碑までを巡る文化財ウォーキングを開催し、市内の文化財の普及及び関口氏の顕彰事業を推進します。

菊川城館遺跡群の整備基本構想

◆ 菊川城館遺跡群整備基本計画作成事業 **継続** 《 4,881 千円》

◇ 菊川城館遺跡群の整備計画を、令和2・3年度の2年間で策定します。

◆ 横地氏城館遺跡探訪マップ作成事業 **新規** 《 35 千円》

◇ 横地氏城館跡を安心して探訪していただくためのガイドマップを作成します。

第三次菊川市子ども読書活動推進計画の実施

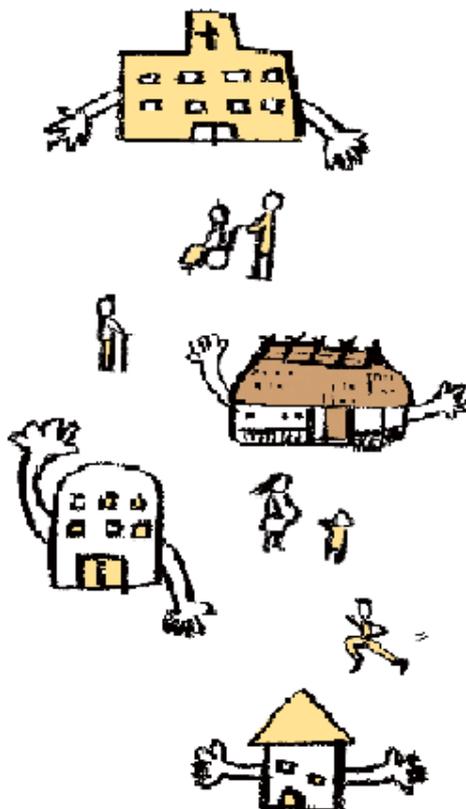
◆ 子ども読書活動推進事業 **継続** 《 1,424 千円》

◇ 第三次菊川市子ども読書活動推進計画に基づいた活動を行い、次世代を担う子どもたちに読書の楽しさ大切さを伝え、子どもたちの成長を支えていきます。

郷土資料の収集や活用

◆ 郷土資料収集活用事業 **継続** 《 30 千円》

◇ 地域の情報拠点として、郷土資料の収集や活用を進めます。



3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち

安定した農業経営と複合経営の推進

◆地域特産物推進事業 **継続** 《 619 千円》

◇菊川市の新たな地域特産物となりうる可能性のある野菜等の試験栽培や、開発した新たな地域特産物のブランド化を図るための支援を実施します。

◆複合経営推進事業 **継続** 《 1,430 千円》

◇農業経営の安定化や継続及び耕作放棄地化の未然防止を図るため、「農地転換費用軽減支援事業費補助金」等により基幹作物と高収益作物との複合経営を推進します。

★◆荒廃農地再生・集積促進事業 **新規** 《 1,275 千円》

◇市内の荒廃農地の再生を通じた農地集積により経営規模拡大を促進するため、「荒廃農地再生・集積促進事業補助金」により支援します。

女性の就農推進

◆女性の就農推進事業 **継続** 《 4,069 千円》

◇女性の発想や活動を地域農業に取り入れ、活性化に繋げていくため、「地域おこし協力隊」を活用し、農業の新たな魅力の発見や情報発信を進め、女性の就農支援体制づくりを進めます。

ため池の耐震対策

★◆農村地域防災減災事業費 **拡充** 《 72,445 千円》

◇防災重点ため池に選定されたため池の耐震点検を行うとともに、県が実施するため池整備事業費に対して負担します。

安定した農業用水の確保

◆水利施設整備事業 **継続** 《 24,750 千円》

◇農業用用水路の整備により生産性の向上を図り、農用地の有効利用を促進します。

農地中間管理機構関連農地整備事業の検討

◆農地中間管理機構関連事業 **継続** 《 5,000 千円》

◇農地中間管理機構関連農地整備事業の実施の可能性を調査する3地区の県単調査費に対して負担します。

- ・川西地区（水田） H30～R 2
- ・嶺田地区（水田） H30～R 4
- ・古谷地区（茶園） R元～R 3

経営体の育成

◆茶生産経営体育成推進事業 **継続** 《 1,450 千円》

◇茶価低迷や担い手不足、また生産費高騰による経営圧迫などの将来に渡る安定的な茶生産の維持が危惧されるなか、生産組織体制や人材育成などの事業を行う団体を支援します。

生産者への支援

◆茶園管理推進事業 **継続** 《 2,421 千円》

◇茶園集積による機械化に対応した生産性の向上や省力化を図るため、農地中間管理事業を活用し茶園集積を行い、園地整備等を行う茶工場又は生産者に対して支援するとともに、より信頼性の高い生産体制を図るため、GAP制度等の活用を推進します。

★◆産地生産基盤パワーアップ事業 **新規** 《 484,636 千円》

◇地域の営農戦略として定めた「産地パワーアップ計画」に基づき、需要に応じた多様な品質・ロットに対応できる生産・供給体制を構築するための施設整備を支援します。

深蒸し菊川茶ブランドの確立

◆茶品評会出品事業 **継続** 《 1,800 千円》

◇若手茶生産者の技術向上や、菊川茶のブランド力向上を図るために、品評会へ出品する茶生産者を奨励金により応援します。

◆茶消費拡大事業 **継続** 《 10,915 千円》

◇菊川茶の宣伝と消費拡大事業等を実践し、茶業の安定及び発展を図ることを目的とした菊川市茶業協会に対し負担金を支出するとともに、菊川茶のブランドの確立を目指し、事業の進捗を図ります。

お茶の消費拡大事業

◆茶消費拡大事業（再掲） **継続** 《 11,415 千円》

◇菊川茶の宣伝と消費拡大事業等を実践し、茶業の安定及び発展を図ることを目的とした菊川市茶業協会に対し負担金を支出します。

◆茶交流促進事業 **継続** 《 756 千円》

◇県内外の方を招いて、収穫体験の実施や市の特産品をPRし、交流人口の増加を図ります。



茶文化の継承

◆茶生産経営体育成推進事業（再掲） **継続** 《 1,100 千円》

◇茶業の振興を図る茶業委員会に負担金を支出し、茶業委員会の活動の中で小中学生のお茶を飲む生活習慣づくりを進めます。

◆茶文化継承事業 **継続** 《 882 千円》

◇菊川茶文化の継承のため、市内外の人を対象としたお茶の淹れ方教室、小学生への茶業学習の実施を菊川市茶業協会に委託します。

◇環境への負荷を軽減した世界農業遺産「静岡の茶草場農法」を推進し、市内茶業を始めとする地域全体の活性化を図ることで、農法の保全や継承、景観及び生物多様性を保全する取り組みを行い、ブランド化やイベントへ出展しPRを実施します。

事業承継・創業の支援

◆創業支援・事業承継支援事業 **継続** 《 121 千円》

◇創業希望の方や創業間もない方等を対象に、創業支援セミナーを開催します。

◇静岡県事業承継ネットワーク等の関係機関と連携し、事業承継の推進を図ります。

◆産業支援体制研究事業 **新規** 《 ---- 》

◇中小企業及び小規模企業の事業承継・創業等を支援する体制（拠点）の研究を行います。

企業の人手不足の問題を解消

◆就労支援事業 **継続** 《 2,423 千円》

◇ハローワークの協力を得て、毎月1回市内に窓口を開設し、身近で気軽な就労情報の収集と相談ができる場所を提供します。

◇女性の就労機会の拡大を目的として、就職支援のための講座、企業訪問、合同企業説明会を開催します。

◇企業求人説明会等により、多くの若者に地域の企業を知ってもらい、地元企業に就職してもらうことを推進する小笠地区雇用対策協議会に対し負担金を支出します。

◇市内企業に興味のある高校生、大学生等を対象に企業見学バスツアーを開催します。

◆企業支援訪問事業 **継続** 《 ---- 》

◇市内企業への訪問により企業との信頼関係の構築を図るとともに、企業活動や経営状況の把握、行政情報の提供等の情報交換を行います。



企業が進出・操業しやすい環境づくり

◆企業立地推進事業 **継続** 《 175 千円》

◇県と市町が企業誘致活動を一体的に推進する協議会に参加し、首都圏等への企業訪問による行政情報の提供、情報交換等を行います。

◆企業支援訪問事業（再掲） **継続** 《 ---- 》

◇市内企業への訪問により企業との信頼関係の構築を図るとともに、企業活動や経営状況の把握、行政情報の提供等の情報交換を行います。

◆産業支援機関連携事業 **継続** 《 1,009 千円》

◇静岡県国際経済振興会（SIBA）、浜松地域イノベーション推進機構、フotonバレーセンター、日本貿易振興機構（JETRO）等の産業支援機関と連携し地域産業の活性化に取り組みます。

新たな工業用地の事業化に向け検討

◆工業用地検討事業 **継続** 《 ---- 》

◇開発の可能性を調査した工業用候補地について、県、庁内関係各課、用地関係者等との調整等を図り、事業化に向けた検討を行います。

地域資源を活かした体験型観光の推進

◆観光振興事業（菊川市観光協会運営事業費補助） **継続** 《 7,059 千円》

◇菊川市における観光事業の振興を図り、文化、産業の発展向上に資することを目的とする菊川市観光協会への補助金を支出します。

★◆交流促進事業 **拡充** 《 4,544 千円》

◇菊川市の地域資源の魅力都市部等で情報発信・PRする情報発信事業や、菊川市を訪れる方の満足度を高める交流促進事業を関係事業者等と連携し実施します。

◇菊川市の魅力を情報発信するため、観光パンフレットを全面改訂し、新たな観光パンフレットを作製します。

◆広域観光連携事業 **継続** 《 1,364 千円》

◇県、県内市町、JR6社等が協働して実施する「静岡デスティネーションキャンペーン」への負担金を支出し、アフターキャンペーン事業に参加します。

◇県観光協会、空港周辺地域観光振興研究会、遠州観光協議会等、広域的な観光連携を進め、交流人口拡大につなげます。



4 快適な環境で安心して暮らせるまち

台風 19 号による被災箇所の復旧

- ◆国庫補助災害復旧事業（農林課）（R 元 繰越） **継続** 《 35,715 千円》

◇令和元年 10 月 12 日の台風 19 号により被災した市道東 69 号線及び杉ノ谷大久保線の復旧工事を実施します。

- ◆国庫補助災害復旧事業（建設課）（R 元 繰越） **継続** 《 38,763 千円》

◇令和元年 10 月 12 日の台風 19 号により被災した市道和田牛淵線の復旧工事を実施します。

災害対策本部の整備

- ◆災害対策本部整備事業 **新規** 《 4,340 千円》

◇本庁舎 2 階の地域支援課と 201・202 会議室の壁を取り、災害対策本部とするための改修を行います。

「災害に強いまち菊川」をつくる

- ◆国土強靱化地域計画策定事業 **新規** 《 ---- 》

◇大規模自然災害が発生しても致命的な被害を負わない強さと、速やかに回復するしなやかさを併せ持つ強靱なまち菊川をつくるための施策を、総合的・計画的に推進する指針「国土強靱化地域計画」の策定を進めます。

静岡県総合防災訓練の実施

- ★◆県総合防災訓練事業 **新規** 《 19,959 千円》

◇昭和 54 年から実施されている「静岡県総合防災訓練」を、令和 2 年度は静岡県と菊川市及び御前崎市との共催により実施します。訓練には、県、市、防災関係機関、自主防災会、企業及び市民団体が参加し、大規模地震により被災した場合におけるそれぞれの役割や連携方法の確認を行うことにより、参加者全体の防災力の向上を図ります。

防災意識の向上

- ◆防災啓発事業 **継続** 《 855 千円》

◇防災フェア、防災講演会等の開催を通して家庭での防災意識の向上と女性の防災活動への参画の推進を図ります。

地域の危険箇所、浸水想定を理解

★◆ハザードマップ作成事業 **新規** 《 5,000 千円》

◇土砂災害の危険箇所、浸水害の想定最大規模を表示するハザードマップを改訂します。

一人ひとりが普段から災害に備える取り組み

◆マイ・タイムライン普及事業 **新規** 《 60 千円》

◇危険から身を守るためにあらかじめ自分や家族の行動を決めるためのマイ・タイムラインの普及を行います。

◆大規模地震対策等総合支援事業（自助） **継続** 《 2,860 千円》

- ◇地震発生時の家具等の転倒による被害を抑制するため、要配慮者世帯を対象として家具転倒防止対策事業を実施します。
- ◇地震後の電力復旧の際における火災を防止するため、65歳以上の世帯や障害者等要配慮者を含む世帯に支援を行います。
 - ①耐震シェルター整備費補助金
 - ②防災ベッド購入費補助金
 - ③（拡充）感震ブレーカー設置補助金

◆TOUKAI-0事業 **継続** 《 19,052 千円》

◇予想される東海・東南海等大地震による建物やブロック塀の倒壊から市民の命を守るため、既存住宅等の耐震補強やブロック塀の撤去・改修等への補助を実施します。

防災組織及び避難所運営組織の活動を支援

◆自主防災組織事業 **継続** 《 1,591 千円》

◇自主防災会を対象とした説明会の開催や防災指導員の活動をとおして地域防災力の向上を図ります。

◆大規模地震対策等総合支援事業費（共助） **継続** 《 15,135 千円》

◇自主防災会等地域の防災組織の育成強化と防災意識の高揚を図り、地域防災力の基盤整備を図ります。

防災関連の出前行政講座

◆防災啓発事業（再掲） **新規** 《 60 千円》

◇防災意識を高めるため、防災士が組織する団体に講師を依頼し、出前行政講座の開催数や模擬体験講座を増加させ、団体の育成を図ります。

地域防災の担い手となる人材育成

◆静岡県ふじのくに防災士育成事業 **継続** 《 57 千円》

◇自主防災会や避難所運営委員会等の地域防災の担い手となる人材を育成するため、静岡県ふじのくに防災士資格の取得に対し補助を行います。

防災資機材や情報機器の整備

◆大規模地震対策等総合支援事業（公助） **継続** 《 28,354 千円》

- ◇大規模地震災害発生の際に発生が想定される被災者支援のための食料・生活物資及び資機材の備蓄を計画的に進めます。
- ◇災害時の情報共有手段として使用する端末や防災ラジオを購入します。

◆防災施設等整備事業 **継続** 《 11,517 千円》

- ◇西方地区センター、町部地区センター、内田地区センター、横地地区センター、河城地区センターに避難所用防災倉庫を更新します。

災害時の復旧活動拠点となる河川防災ステーション

★◆水防施設整備事業 **拡充** 《 65,325 千円》

- ◇国土交通省浜松河川国道事務所と進める河川防災ステーションへの水防ステーション関連施設建設にかかる負担を行うとともに、ステーション利用者のためのトイレを整備します。また、水難救助用のボートを配備します。

消防力の基盤強化

◆消防自動車整備事業 **継続** 《 19,556 千円》

- ◇複雑多様化する災害に的確に対応するため、老朽化した菊川市消防団小笠南分団消防ポンプ自動車の更新を行います。

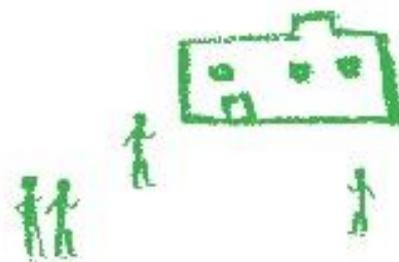
◆貯水槽整備事業 **継続** 《 20,813 千円》

- ◇火災時の重要施設である消防水利の充実強化として、耐震性貯水槽を整備します。

救急業務の質の向上

◆指導救命士養成事業 **継続** 《 434 千円》

- ◇所属内の指導的立場にある救急救命士が、救急振興財団の研修を受けることで、救命士再教育に必要な研修を所属で行え、スキルアップが所属全体で可能となります。



幹線道路や生活道路などの基盤整備

★◆街路青葉通り嶺田線整備事業（新工区） **継続** 《 23,694 千円》

◇都市計画道路青葉通り嶺田線の牛淵川に架かる小松洗橋の詳細設計を進めます。

◆掛川浜岡線バイパス整備事業 **継続** 《 42,991 千円》

◇掛川浜岡線小笠バイパスの赤土地区から高橋地区を結ぶ延長1,100mの道路整備を実施します。

◆市道大須賀金谷線整備事業 **継続** 《 67,133 千円》

◇市道大須賀金谷線は神尾地区から横地地区を結ぶ主要幹線であり、道路ネットワークの強化や交通安全を図るため整備を行います。

◆潮海寺地区計画事業 **継続** 《 43,239 千円》

◇官民協働で潮海寺地区の都市基盤整備を行い、狹隘道路整備率の向上及び住環境の改善を図ります。

菊川駅北整備構想に基づく検討

◆駅北まちづくり検討事業 **継続** 《 695 千円》

◇駅北地域の将来整備構想の実現性について検討を進めます。

◆自由通路概略計画事業 **継続** 《 61,153 千円》

◇基本計画調査を基に概略設計を行い、詳細な規模や設備を検討するとともに、事業費や工期を算出する業務委託を行います。

立地適正化計画の策定

◆立地適正化計画策定事業 **継続** 《 6,795 千円》

◇持続可能なまちづくりとして取り組むコンパクト・プラス・ネットワークの形成を図るための立地適正化計画を策定します。

公共交通の維持

★◆コミュニティバス推進事業 **拡充** 《 73,850 千円》

◇路線バスが運行していない交通空白地域の解消を目的とし、定時定路線運行7路線及びデマンド運行2路線を運行します。また、車両の更新、時刻表の配布等により、利用促進を図ります。

若者の人口増加や定住促進

◆若者世帯定住促進補助事業 **継続** 《 30,500 千円》

◇市内への若者世代定住や三世帯同居促進を目的とし、住宅取得者へ補助金を交付します。

循環型社会の構築と地域の水資源を保全

◆一般廃棄物処理基本計画策定事業 **継続** 《 4,290 千円》

◇資源循環型社会の構築を図るとともに、地域の水環境を保全し計画的に推進するため、次期計画を策定します。

浄化槽設置事業費補助制度の推進

◆浄化槽設置事業 **継続** 《 51,391 千円》

◇生活排水処理の向上・環境への負荷軽減を図るため、浄化槽の設置費に対し補助金を交付します。

公共下水道の整備

◆公共下水道整備事業 ※下水道事業会計 **継続** 《 575,342 千円》

◇菊川水系の水質浄化を図るため、下水道の整備を実施します。

上水道の整備

◆水道整備事業 ※水道事業会計 **継続** 《 357,472 千円》

◇災害に強い管路への改良に取り組みます。



5 まちづくりに市民と行政が共に取り組むまち

庁舎東館周辺の賑わい創出

★◆市民協働型庁舎東館周辺賑わい創出事業 **拡充** 《 8,542 千円》

◇地域住民や地元商店街、市内事業者、若者等が、自らまちの賑わい創出を担っていく機運を高めながら、賑わい創出に向けた事業を実施します。

多文化共生社会の実現

★◆外国人相談窓口設置事業 **拡充** 《 4,577 千円》

◇外国人住民に対する多言語での情報提供や、生活上の相談に対面や電話等を活用し多言語で対応し、関係機関への取次等を行うため、外国人相談窓口を設置します。

★◆多文化共生推進事業 **新規** 《 1,430 千円》

◇外国人住民や外国人転入者に対し、生活上のルール等について説明を行うため、リーフレットを作成し、相談窓口で説明・配布を行います。

マイナンバーカードの普及

◆マイナンバーカードを利用した窓口証明書交付事業 **拡充** 《 1,203 千円》

◇窓口に設置した専用のパソコンからコンビニ交付と同様の簡単な操作で証明書の申請が可能となるサービスを導入し、コンビニ交付利用促進及びマイナンバーカードの普及に繋がります。

◆マイナンバー制度推進事業 **新規** 《 2,596 千円》

◇国が実施する消費税率引き上げに伴う消費活性化策のマイナンバーカードを活用した「マイナポイント」事業の広報やマイキーIDの設定支援を行います。

シティプロモーションへの取り組み

★◆魅力発信事業 **拡充** 《 40 千円》

◇ウィキペディアタウン（地域情報をインターネット上の百科事典「ウィキペディア」へ掲載すること）を実施します。
◇市民による本市の魅力発信を推進するため、市民を対象としたSNS向けの写真講座を開催します。

移住・定住の促進

◆移住・定住・交流推進事業 **継続** 《 1,245 千円》

◇移住を検討している方に菊川市を知っていただくための市内案内の実施や、首都圏等で開催する移住相談会等へ参加します。また、東京圏からの移住促進及び中小企業の人材確保対策のため「移住就業支援事業費補助金」により支援します。

適正な職員管理

◆定員管理計画策定事業 **新規** 《 ---- 》

◇増大する行政需要に的確に対応し、定員の適正管理を推進することを目的として、職員の任用及び配置などの人事行政の運営等における基本的指針となる新たな「菊川市定員管理計画」を策定します。

働き方改革への取り組み

★◆AI-OCR・RPA導入事業 **新規** 《 9,438千円》

◇業務の効率化を図るため、録音音声を文書化する議事録作成支援システムの導入や紙の文書をAI-OCRで読み取るとともにデータ化を行い、そのデータをRPAにより情報登録するシステムを導入します。また、本庁舎4階に庁内情報系回線のWi-Fi環境を整備します。

◆働き方改革推進事業 **継続** 《 189千円》

◇職員向けに働き方改革の研修を実施し、意識改革を図ります。

行政経営システムの稼働

◆行政経営システム運用事業 **継続** 《 9,400千円》

◇行政評価・実行計画・予算編成までを一連の流れとして、PDCAを効果的に回していくための仕組みを確立し、運用していきます。

行財政改革への取り組み

◆行財政改革推進事業 **継続** 《 761千円》

◇菊川市新行財政改革推進方針に基づく菊川市CAPDo!を推進するため、行財政改革推進本部会並びに懇話会を開催し、進めます。また、指定管理者制度の推進やネーミングライツ事業等により新たな財源の確保にも努め、健全な行財政基盤を確立するため、新たな行財政改革推進方針の検討を進めます。

公共施設の適正な維持管理

◆公共施設管理計画事業 **継続** 《 6,084千円》

◇公共施設マネジメントの基本方針である「施設総量の最適化」、「長寿命化の推進」、「施設の有効活用」に取り組むため、個別施設計画の策定を行います。

◆庁舎北館跡地整備事業 **新規** 《 50,738千円》

◇公共施設マネジメント基本方針にある施設総量の最適化に基づき、庁舎北館を解体し、跡地を駐車場に整備します。

地域振興のための財源確保

★◆地域振興等基金設置事業 **新規** 《 700,000千円》

◇将来の地域振興等に要する経費に充当するため、菊川市地域振興等基金を設置し積立てを行います。

